

令和5年5月9日(火) 18時30分

場 所 東生会館大ホール

4月26日に同じ内容で、正副会長理事会議を開催しました。

資 料：令和4年度会計報告 / 東生会だより (p3 4 5 6)

/高島俊男氏(7回生)関係 / 名簿関係 / 進路状況

/大西好宣氏(32回生 朝日新聞 3/28)記事

I 会長挨拶

- ・ コロナも5類に移行し、ノーマスクも増えましたが、引続き自衛を。
- ・ 東生会館のリフォーム、3階和室の整備等、美しくなりました。有志の方のお世話が本当に有り難いです。
- ・ 東生会の法人化を検討中。形になればと考えています。

校長挨拶

栗林秀忠校長(相生高校より転任)

- ・ 人づくり、もの作りなど、産業教育に携わってきました。学習指導に限らない人間教育に目を向けています。AIに負けない人間力、倫理観を持ち自立した生徒を育てたい、と考えています。東生会には物心両面で、他に類を見ない規模の支援を受けています。今後ともよろしくお願いします。
- ・ スーパーKなどの奨学金、国際交流基金など、手厚い支援に感謝します。

事務長挨拶

岡田和志事務長(龍野高校より転任)

- ・ この一ヶ月の間に、東生会による支援の大きさを実感しています。前事務長の意思を引き継ぎ、生徒の教育環境のさらなる整備に尽力していきたいと思えます。

II 議事

(1) 報告事項

イ 令和5年度の異動

【転入】栗林秀忠校長

岡田和志事務長

【転出】臼井研二校長(北条高校へ)

山田潔特任専門官（歴史博物館へ）

橋本裕夫事務長（日ノ本学園高校へ）

高濱祐介（46回 東洋大学附属姫路高校へ）

吉原精一（28回 本校非常勤講師に）

ロ 75回生 273名入会（常任幹事 竹森和咲さん）

ハ 高校入学試験（78回生）

推薦入試 定員 140名 233名受験 1.66倍

学力検査 定員 140名 168名受験 1.19倍

出身中学 旧姫路福崎学区 202名 西播磨 73名 その他 8名

ニ 進路状況 **別紙**

- ・ 関西学院大、甲南大の合格者が増加している。これまで公立大学へ行っていた層が流れている、と考えられる。
- ・ 過去10年、旧帝大の合格者は平均11名。
- ・ 75回生から東大文Iの合格者が出た。
- ・ SSHの効果はまだ見られない。関西5大学の合格者数は神戸大学が支えている。
- ・ 兵庫県立大の合格が、現役合格者数増に一役買っている。
- ・ 地方国公立大よりも県内私立大を選ぶ家庭が増えている。

ホ 令和4年度会計 **別紙①～⑥**

一般会計

育英基金

スーパーK奨学基金

監査 **別紙**

- ・ 奨学金は、高校生は7月、大学生は3月に選考会
- ・ 4月21日 福永正彦(17回)・村山豪彦(24回)・丸子輝大(47回)各氏により監査
- ・ 丸子監査より 監査報告→承認

ヘ 令和5年度維持会費の振り込み状況(4月20日現在) **別紙⑦**

- ・ 一般会計は毎年赤字。周囲への呼びかけなど、何卒お力添えを。
- ・ 振込用紙を使用したコンビニでの振込を、2000円の定額以外の金額も振り込めるようにしてほしい。
- ・ 来年の会報には納入者一覧を同封予定。

ト 国際交流基金

- ・ 本年度は アメリカ(ボストン) / オーストラリア

栗林校長より

- ・ バイオジェン(アメリカ医薬品メーカー)での研修を実施。日本初で、東高生のみが参加でき、卒業生(33回生)がバイオジェンの広報に在籍している。
- ・ 臼井前校長が取り付けた。向こう2年は本基金から出していきたい。将来的にはSSHに組み込みたいと考えている。

チ SSH(Super Science Highschool)の進捗状況

- ・ 理系がメインの探究的な取り組みだが、文系も科学倫理についての議論を展開している。国際交流とは別で、海外研修を計画している。
- ・ 年に3回の発表会を開催(うち1回はアクリエ姫路で開催。全国高校生が参加)している。Ⅱ期目も文科省指定を受けられるように取り組んでいる。
- ・ 現在Ⅰ期(令和2~6年度)の4年目、何とかⅡ期目も取ってほしい。東生会としてもさらなる支援をしたい。(増田会長)

リ 東生会館整備改修の報告 **たより P4.5**

- ・ 出版、新聞記事掲載、メディアでの紹介など卒業生の活動に関する情報をお寄せください。
- ・ 本日会議後に整備改修された場所に案内します。見学してほしい。

ヌ 高島俊男氏(7回) **たより p6 別紙**

- ・ 3月5日に相生駅南第2公園に顕彰文学碑を建立した。
- ・ 相生市制施行80周年記念事業(相生市との共同事業)として実現。
- ・ 式には東生会から17人出席。その後、お礼の会を開催。
- ・ 今後、旧宅にもささやかな碑を残す予定。
- ・ 相生にお越しの節にはぜひお立ち寄りを。
- ・ 『文藝春秋6月号』(5月10日発売)巻頭随筆に「高島俊男先生顕彰碑建立の経緯」を掲載。

(2) 協議事項

イ 東生会名簿改定(2024年版) **別紙**

- ・ 経費が高騰している。会員の協力を仰ぎ、発行部数を増やしていきたい。

- ・ 広告収入の促進

ロ 22 回総会（令和 6 年 5 月の予定）

役員の変更

- ・ 副会長のうち 3～4 名が退任予定。その補充の必要があります。理事も含めて適任者の推薦をお願いします。
- ・ 組織の法人化を検討
寄付をした方には、税制面でメリットがあるようにしたい。

ハ 中庭に初井しづ枝氏（県女 5 期）歌碑建立 **たより p6 7**

- ・ 令和 5 年度中に完成させたい。

《 今年度の主な予定 》

- 4 / 26 (水) 正副会長理事合同会議 (済み)
- 5 / 9 (火) 常任幹事会 (18 時 30 分)
- 7 月より 第 1 回東生会だより編集会議 (2 月末まで続く)
- 11 / 19 (日) 東京支部総会
- 11 / 25 (土) 京阪神支部総会
- 3 / 末 東生会だより (31 号) 発行

※ 東生会だよりを毎年 3 月に発行している。編集委員として校内幹事から 3, 4 名が入っている。30～40 回生代の協力をさらにお願ひしたい。(高濱編集長)

Ⅲ 閉会 山本誠司副会長より

- ・ 生徒数が減少している中で、特色を出して高度な教育を展開していかなければならない。縦横の関係を深めるとともに、より一層の協力・支援をお願いします。
- ・ ボストンのバイオジェンがノーベル賞を受賞した研究者方がたくさんいます。その中で地元の小学生などが気軽に訪問できるオープンな会社です。